

# 英語を楽しく

## ☆ be 動詞と do (動詞) の意外なはたらき

学校では、be 動詞は「～です」 do は「する」もしくは助動詞として教えられた記憶があるはずですね。だけど、下の文を「です」を使って訳すことはできませんね。

### ① He was at the school for ten years.

was を worked 置き換えると「彼は10年間その学校で働いた。」となり was は 働くの意味になります。では、次はどうでしょうか。

### ② Nothing was to be seen over there.

の場合は、was は could の意味になります。

do の場合はどうでしょう。

### ① I do jodo. 一般に「柔道をする」は「practice judo」といいますが「do jodo」といえば簡単なのです。ですから、

### ② She does kendo. は「彼女は剣道をする」ですね。

英語って日本語にない意外な面があるのでは??

それが以下のこと

### 【 I want much money yesterday. 】

「どこが意外?」と思われたかも、むしろ、yesterday なのに want (現在形) を使っておかしいよ。と言われるかも。それとも、wanted ?  
実は、この文は 次のような理由で正しいのです。

A 君、多額の借金をし、毎日のように取り立て人が来る。何とかして金を工面しようとするができない。そんな折、ばったり、道で友人の B 君に合った。そこで、

「どうしても今、お金を都合して欲しい。」

と言った。すると、親切な B 君は、

「いつ?」

と聞いた。それに対して A 君は、

### 【 I want much money yesterday. 】

と言いました。実はこの英文の内容は、

「今の今、今すぐお金を貸して欲しい。」

です。《 yesterday (昨日) 》の単語を使うことで、せっぱ詰まった気持ちを相手に伝えるのです。

「 yesterday (昨日に) 貸して欲しい。」. という過去にさかのぼる表現で急を要することを表わすとは、いかにもおもしろい表現だと思いませんか。

